

国内における「高病原性鳥インフルエンザ」の発生状況と本県の対応について

1 国内での発生状況（令和4年11月18日現在）

	確認日	所在地	種別	飼育状況
第1例目	10月28日	岡山県倉敷市	採卵鶏	約 17万羽
第2例目	10月28日	北海道厚真町	肉用鶏	約 17万羽
第3例目	11月 1日	香川県観音寺市	採卵鶏	約 4万羽
第4例目	11月 4日	茨城県かすみがうら市	採卵鶏	約104万羽
第5例目	11月 4日	岡山県倉敷市	採卵鶏	約 51万羽
第6例目	11月 7日	北海道伊達市	肉用鶏	約 15万羽
第7例目	11月11日	岡山県倉敷市	採卵鶏	約3.4万羽
第8例目	11月11日	和歌山県白浜町	あひる	約 60羽
第9例目	11月13日	兵庫県たつの市	採卵鶏	約4.4万羽
第10例目	11月18日	新潟県阿賀町	肉用鶏	約 15万羽
第11例目	11月18日	鹿児島県出水市	採卵鶏	約 12万羽

（参考）野鳥の感染状況（11月17日現在）：9月30日以降、9道県32例の確認

2 本県の対応状況

（1）「鳥インフルエンザ」とくしまアラートの発動

現在、「ステージⅢ（感染拡大警報）」を発動し、防疫対策を強化

（参考）

- ・ステージⅡ（感染拡大注意報）：9月30日発動 神奈川県「野鳥」からウイルスを確認
- ・ステージⅢ（感染拡大警報）：10月7日発動 宮城県「野鳥」からウイルスを確認

（2）「危機管理会議」の開催（10月28日、10月31日）

- ・庁内関係部局との情報共有
- ・関係部局一丸となった防疫対策の徹底について指示

（3）防疫対策の強化

〈10月28日危機管理会議 関連〉

- ・「消毒の徹底」や「野生小動物の侵入防止対策」など飼養衛生管理の強化
- ・「消毒用消石灰」の配布（10月31日～11月9日）
 ※県内222農場に対する消毒用消石灰（6,700袋）の緊急配付
- ・県内全養鶏場からの「死亡羽数の報告」頻度を引き上げ、監視体制を強化
 ※「月1回」から「週1回」

〈10月31日危機管理会議 関連〉

- ・県内へのウイルスの侵入を防ぐため、香川県との県境に「消毒ポイント」を設置
 ※11月 1日正午開始～11月20日0:00終了
 11月18日16:00現在 車両消毒台数：332台

（4）野鳥監視体制の強化

- ・市町村や「日本野鳥の会・徳島県支部」、「徳島県猟友会」などと連携し、死亡野鳥の監視を強化
- ・死亡野鳥を発見した際の対応や注意点について、県民に周知

3 「危機管理調整費」「予備費」の活用

- ・「消毒用消石灰」の補充経費について「危機管理調整費(5,700千円)」を活用
- ・「消毒ポイント」の設置経費について「予備費(26,000千円)」を活用